

## 【取組内容⑤】 遠隔通信アプリを活用した他県・他市の小学校との交流

5年生 総合的な学習の時間 「オンラインで静岡県の子とつながろう」  
（やんもの子と荘内っ子の交流会）

使用アプリ：学習支援ソフト、ウェブ会議システム

## 【活動内容】

本校では、ウェブ会議システムを用いて、外部講師の方や他県・他市の小学校などと交流をしています。5年生を例に出すと、総合的な学習の時間で静岡県伊東市立八幡野小学校とオンラインでつながり、交流しました。1回目の交流授業はお互いの学校や住んでいる県・市の紹介をしました。活動を通して、静岡県に興味・関心をもち、社会科「さまざまな土地の暮らし」との関連も図りながら学びを広げていくことができました。さらに、もっとお互いの学校の様子や暮らしについて知りたいと意欲を高めている子どもたちもいました。



2学期に行われた2回目のオンライン交流授業は、各学校の行事の紹介とそこで学んだことの発表でした。各クラスの実行委員を中心に発表内容を考え、練習から本番の発表まで子ども主体の活動となりました。お互いに、行事を通して県や地域の特性を生かした体験活動ができたことを知り、感動の声があがっていました。



交流を重ねるごとに、テーマに沿って子どもが企画・運営をしていく様子が見られ、より主体的な学びになりました。他県の子どものとの交流は、自分の視野を広げるという意味でも、キャリア教育につながります。また、他県の同学年の子どもたちとつながることで興味が広がり、学びが深まりました。自主勉強で静岡県をもっと知りたい、調べたい、の声も聞こえ、自分の学びを広げることができました。3学期には、1年間の総合的な学習の時間での学びを交流する予定です。